

福島・高山こども未来塾事業報告書

ごあいさつ

この度、国立青少年教育機構の「福島こども未来塾」事業の一環として、高山市において「福島―高山こども未来塾」開催いたしました。本プログラムにおきましても、私どもが本年3月まで実施しておりましたふくしまキッズ飛騨高山プログラム同様、福島と高山市の子どもたちがホームステイや体験学習で交流し、理解と友好を深め合うことができました。同時に、福島と高山の子どもたちが共に活動し、交流することを通して、積極性や自立心、郷土愛を育むことができたことと思います。

福島の未来に向け歩み出していこうとする子どもたちと高山の子どもたちの交流は、それぞれの成長はもとより、子どもたちの成長を願う社会全体の成熟をうながすものと確信しています。

本プログラムの運営に対し、多大なるご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。

NPO教育支援協会東海
代表理事 本多 功

1. 開催日

2015年8月19日（水）～8月23日（日）（4泊5日）

2. 参加対象者（全日程参加が条件）

- ・福島の子どもたち：小学5～6年生及び中学1～2年生 計43名
- ・高山市の子どもたち：小学年生及び中学年生
高山市一ノ宮町の小中学生：8月20日の体験活動
高山市内の小中学生：8月21日の高山市内散策
高山市内の小中学生：8月21～23日のホームステイ（24家庭が引き受け）

3. 目的

福島の子どもと高山の子どもが、共に活動、交流することを通し、積極性や自立心、郷土愛を育む

4. プログラム内容

テーマ：『豊かな心で繋げよう未来に』～心おどる感動体験、心を繋ぐ交流～

■第1ステージ（8月19日午後～21日午後）

高山市は飛騨の匠、高山祭りで有名です。リンゴや桃が栽培され、気候的には福島市、郡山市に似ていました。パラパラと雨の降ることもありましたが、夏の日ざしがさえぎられ過ごしやすい環境で交流活動ができました。

高山市立宮中学校女子バレーボール部員との交流を行いました。飛騨匠の道（位山古道）を歩き、バーベキューでお腹を満たし、中央分水嶺を越え、刈りやす湿原を散策します。その後、宮川で水遊びを行いました。

2つの民宿に分かれて宿泊し、宿の方々との交流を深めました。民宿では飛騨高山ならではの人情、自然、郷土食、そして臥龍桜のそばで遊んだり、ナイトハイクを楽しむことができました。

高山の旧市街の散策では、高山市内の子どもが案内をしてくれました。古い町並みや屋台会館、そして、みたらし団子や高山ラーメンを食べ、家族へのお土産を買うことができました。

<スケジュール詳細>

スケジュール（1日目） 民宿

8月19日（水）

時刻	活動	内容	留意点
6:00		10:00 岐阜駅北西 じゅうろくプラザ北に集合	
7:00		岐阜ボランティア（鈴木、山田、川上、菊田、小栗、小塩、奥村、高橋）鈴木車、高橋車で高山へ移動	
8:00		掛川（多治見から高山へ移動）	
9:00	福島出発	14:00 高山市立宮中学校駐車場に集合	
		民宿へ移動、荷物の整頓、子どもの受け入れ（部屋名簿の掲示等）	
10:00	岐阜県スタッフ・ボランティアの紹介、ねらい、約束の確認。		
11:00	・進行:鈴木		
12:00	・岐阜ボランティアの自己紹介		
13:00	・挨拶:大高、高橋		
	・日程説明:高橋		

みづの荘
509-3505 岐阜県高山市一之宮町 2008
0577-53-2707

三宅荘（みあけそう）
509-3505 岐阜県高山市一之宮町 340-1
0577-53-2052

14:00			
15:00			
16:00	開講式	・飛騨高山プログラムについて ・岐阜ボランティアとの出会い	高山市立宮中学校
17:00	民宿に到着 部屋に荷物の搬入	・民宿の方々との出会い ・みづの荘、三宅荘に分かれ宿泊	福島からのボランティア6名、スタッフ2名は、開校式に出席し岐阜ボランティアと対面し、民宿まで子どもと共に移動。子どもが部屋に荷物が搬入されたことを確認し、乗鞍少年自然の家へ移動。
18:00	夕食	各部屋に事前に名簿を掲載。	
19:00	ミーティング	・民宿の方々からの話 ・本日の反省、明日の活動連絡	
20:00	入浴、学習、身辺整理		
21:00	就寝準備	交流できたことを確認。特にしおりの交流の窓を活用し、誰とどのように交流できたのかを確認。	
22:00	就寝		
23:00	各民宿で打合せ	就寝までにしおりを回収し、朱書き。 子どもの様子確認、明日の日程の確認。	

スケジュール（2日目） 民宿 8月20日（木）

時刻	活動	内容	留意点
6:00	起床		
7:00	朝食	福島ボランティアは、8:00までに三宅荘へ到着し、活動へ合流。	
8:00	民宿：三宅荘出発 民宿：みづの荘出発	宮中学校長（山本茂）の指導の下、交流活動を実施。宮中学校女子バレーボール部10名が交流。	
9:00	一之宮地区の子どもとの交流	・みづの荘で合流する。 ・アイスブレイキング	みづの荘付近
10:00	・モンデウスまで散策(約5km)	・自己紹介等 ・「位山古道」飛騨匠の道	奈良時代にできた古道を、散策して登る
11:00	・バーベキュー準備	・モンデウス・スキー場 ・バーベキュー体験	
12:00	昼食	・交流	

	<ul style="list-style-type: none"> ・片付け 		
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・位山登山(スキー場途中) ・刈安湿原の散策 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央分水嶺(日本海と太平洋)であり日本二百名山である位山と刈安湿原を散策する 	
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ・下山 → 一之宮町へ 		
15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・宮川での水遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・水着でかわの中に入り、遊ぶ 	
16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・民宿へ移動 	<ul style="list-style-type: none"> ・一之宮地区の子どもとの交流振り返り 	三宅荘は大幢寺の隣 みづの荘メンバーは 徒歩で移動する
17:00		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>福島ボランティアは、民宿まで子どもと同行し、乗鞍青少年自然の家へ移動。</p> </div>	
18:00	夕食		
19:00	ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の反省、明日の活動連絡 	
20:00	入浴、学習、身辺整理	<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> <p>交流できたことを確認する場にする。特にしおりの交流の窓を活用し、誰とどのように交流できたのかを確認。</p> </div>	
21:00	就寝準備		
22:00	就寝		
22:30	各民宿で打合せ	<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> <p>就寝までにしおりを回収し、朱書。子どもの様子確認、明日の日程の確認。</p> </div>	



■第2ステージ（8月21日夕～23日朝）

高山市立南小学校体育館でホストファミリーの方々と出会い、2泊3日のホームステイを楽しみました。高山市子ども達と兄弟のように寝食を共にし、遊び、手伝いをしました。事前に福島保護者と高山のホストの方とが連絡を取り合い、連携ができていたので子ども達は高山での楽しい家庭生活を送ることができました。また、子ども同士の交流に留まらず、福島と高山の保護者の方々双方の交流も生まれました。



<全日程>

日程	午前中の活動	午後の活動	宿泊
8月19日 (水)	福島、郡山出発	高山市到着、開講式	民宿
8月20日 (木)	体験活動 1 飛騨匠の道	体験活動 2 位山登山・臥龍桜	民宿
8月21日 (金)	退村式 体験活動3 高山市内散策	体験活動4 対面式 高山市内散策 ホームステイ家族	ホームステイ
8月22日 (土)	ホームステイ先での活動	ホームステイ先での活動	ホームステイ
8月23日 (日)	お別れ式	高山市からふるさと福島、郡山へ	

5. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

■民宿：高山市一ノ宮町農家民宿

①農家民宿 みづの荘

〒509-3505 岐阜県高山市一之宮町2008 ☎0577-53-2707

②民宿 三宅荘

〒509-3505岐阜県高山市一之宮町340-1 ☎0577-53-2052

■ホームステイ：高山市教育委員会が募集し調整、計24家庭がお引き受け頂いた。

6. 運営体制について

■総責任者：

本多 功（NPO法人教育支援協会東海 代表理事）

■連絡先事務局：

NPO法人教育支援協会東海（名古屋市西区南川町297 ☎ 052-505-4900）

■事業担当者：

高橋 忠明（NPO法人教育支援協会東海 理事）☎ 090-8557-6493

※保護者連絡用メールアドレス：takachu0328@yahoo.co.jp

■プログラム・安全管理責任者：

西尾 真由美（NPO法人教育支援協会 専務理事）☎ 080-5130-2403

鈴木仁孝（一般社団法人ふるさと体験飛騨高山事務局長）

■病気事故等への対応：

高山市赤十字病院（高山市天満町3-11 ☎ 0577-32-1111）

■サポートスタッフ：

<飛騨高山>

・シニアスタッフ 4名（養護教諭退職者1名・カウンセラー1名・教職経験者2名）

・学生ボランティア 6名（内男子4名、女子2名）

<福島>

・学生ボランティア 8名

■傷害保険等：

東京海上日動火災保険株式会社 国内旅行傷害保険に加入

7. ホームステイ実施の経緯

1) 高山市ホームステイ受入家族（ホストファミリー）への説明会：

8月7日（金）19:00～20:00（於高山市文化会館）にて実施。

・ホームステイを受け入れるに当たっての注意事項等の確認。

・ホームステイする子ども及び保護者の名前、住所、電話、メールアドレスをホストファミリーへ通知。

- 2) 事業担当者（高橋）から福島の子ども（保護者）へ、高山市ホームステイ受入家族（ホストファミリー）への説明会の概要をメール（takachu0328@yahoo.co.jp）で配信。
 - ・ホストファミリーの願いや様子の理解。
 - ・ホストファミリーから、受入について電話又はメールがあることを通知。
- 3) 高山市ホームステイ受け入れ家族（ホストファミリー）から、福島の子ども（保護者）へ連絡（8月12日完了）。
 - ・ホストファミリーの名前、住所、電話、メールアドレスを通知。
 - ・福島の子ども達について、健康状況等情報を共有。
- 4) 事業担当者（高橋）から高山市ホームステイ受け入れ家族（ホストファミリー）へ、福島の子ども達が福島へ帰着したことを、8月23日（日）メール(takachu0328@yahoo.co.jp)配信。
- 5) 福島の子ども達は、福島へ戻ったことを、高山市ホームステイ受け入れ家族（ホストファミリー）へ報告。
- 6) プログラム終了後のホストファミリーからのメール
 - ・ 雨が上がったら蒸し暑くなり、市民プールへ行ってきました。昨日会ったばかりとは思えないくらい仲良くなり、子どもってすごいなあと見ていました。
 - ・ 8月に行われました福島-高山こども未来塾に参加させて頂きました野口修路です。その節は貴重な体験を子供達と一緒に過ごさせて頂きまして、誠にありがとうございました。素晴らしい出会いを与えて頂き、ありがたい気持ちでおります。
 - ・ 先程一人のお子さんから家に着きましたと連絡をいただきました。今回初めてホストファミリーを務めさせていただいたのですが、本当に楽しかったの一言に尽きません。今でもまだ余韻に浸っております。今後も福島の可愛い息子たち(笑)の未来塾の様子も見守っていきたいと思っています。Facebookの方も拝見させていただきます。素晴らしい出逢いのきっかけを作ってください、本当にありがとうございました。
- 7) プログラム終了後の参加児童の保護者からのメール
 - ・ こんばんは。5日間お世話になりました。さえはとても素敵な笑顔で帰って来ました。本当にありがとうございました。
 - ・ ほんとうにお世話になりました。本当に貴重な体験だったと思います。ありがとうございました。